

第70次 印旛地区教育研究集会
算数・数学研究部会（小学校1・4・5部会）

研究主題

主体的に考える児童の育成
～「みなみの学びモデル」を活用して～

資料編



八街市立筒引小学校

筑引小 令和2年度 算数科 研究基本構想図

実態から
身に付け
たい力

- 自ら考え方行動・・・言われたことはできるが、自分から考えて行動ができない。
- 表現力 ・・・人前に出て言葉で伝えるのは苦手である。



主題

主体的に考える児童の育成

～「みなみの学びモデル」を活用して～



仮説

仮説 「みなみの学びモデル」を活用した「ふりかえり」活動を充実させることで、主体的に
考えることができるだろう。

手立て

A 統一した終末のふりかえり

- ① 「みなみの学びモデル」に沿った学習過程
- ② 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの学習プロセス

B それ以外のふりかえり

- 発問計画を立てる
 - ① 学習意欲を高める発問
 - ② 知識技能を定着させる発問
 - ③ 思考・表現を高める発問

C 教師のふりかえり

- ① 評価規準と評価の場面や方法を明確にしておく。
 - ② 『9つの基本と7つの実践』のふりかえり



目指す児童像

算数が好き！もっと学びたい！分かりたい！と自分から考えることができる児童

友達と交流して、自分の考えをもち伝え合うことができる児童

手だて A-① みなみの学びモデルのふりかえり

<低学年>

ふりかえりカード

なまえ ()

① いっしょうけんめいにとりくむことができたか。 

② じぶんのかんがえをもつこことができたか。 

③ ともだちはなしをきき、じぶんのかんがえをつたえることができたか。 

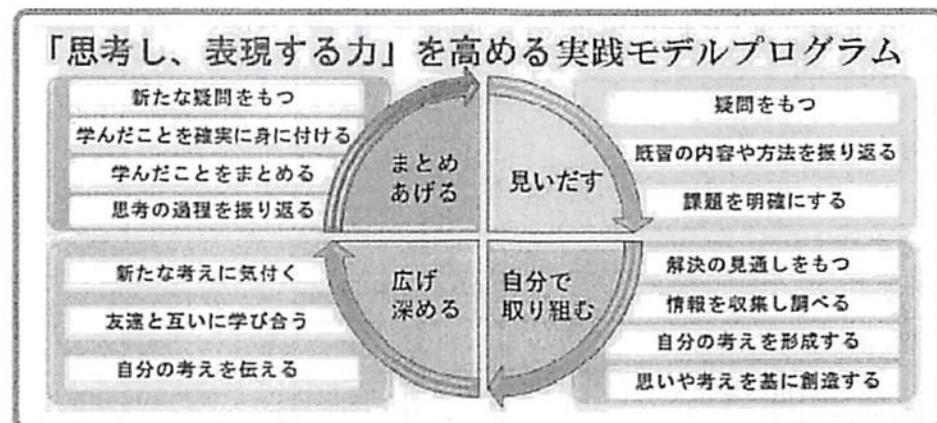
ひづけ	① 	② 	③ 	わかったこと
/				
/				
/				

<高学年>

算数 ふり返りカード

日付	自己評価			ふり返り	◎→はじめてわかったこと、できしたこと ○→今日の授業で大事だとわかったこと △→今日できなかったこと、次回がんばりたいこと
	①	②	③		
/					
/					
/					
/					
/					

手だて A-② 千葉県教育委員会「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



まとめあげる

思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる過程です。「見方・考え方」を今後の学習や生活にどのように生かすか考えることで、学んだことを確実に身に付けるとともに、新たな疑問をもち、次の学習への更なる意欲や見通しにつなげる過程です。

見いだす

今までの学習内容や提示された資料等を基に疑問をもち、本単元（本時等）で解決していく課題を明確にする過程です。また、「これから学習がどのような意味をもち、何を目指しているものなのか」等を意識しつつ、主体的に学習に取り組もうとする過程です。

広げ深める

「見方・考え方」を働かせながら自分の考えを伝え、友達の考えを聞いて疑問点を問い合わせなど、互いに学び合うことを通して、多様な考えを理解する過程です。また、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、新たな考えに気付いたりすることを通して、より質の高い学びとする過程です。

自分で取り組む

解決の見通しをもち、自分で考え、粘り強く課題に取り組む過程です。また、「見方・考え方」を働かせながら、収集した情報を調べたり、自分の考えを形成して文章や言葉、図、式等で表現したり、自分の思いや考え方を基に作品等を創造したりする過程です。

※「見方・考え方」とは、「深い学び」の鍵となるものであり、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」という、教科等ならではの物事を捉える視点や考え方のことであり、教科等を学ぶ意義の中核をなすものです。

「みなみの学びモデル」とリンクさせて

実践モデルプログラム	みなみの学びモデル
見出す	① 授業の始め
自分で取り組む	② 自分の考え
広げ深める	意見交流
まとめあげる	③ ちよいたしタイム ④ ふりかえり

手だて C-② 教師の振り返りシート

参観者と授業者も記入し
共有しました。

校内授業参観 授業者の 振り返りシート

授業者：

教科と単元名：

授業日：

記入者

<9つの基本>	評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情		
2 場に応じた声量の変化		
3 子どもに合わせたテンポ		
4 間を使った言葉の強調		
5 子ども全員への視線		
6 子どもの言動を受容		
7 想定できるだけの準備		
8 学習規律への指導		
9 同時行為の禁止		

<7つの実践>	評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。		
2まとめ自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。		
3 反例での揺さぶりの意識化		
4 ノートの辞書化		
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)		
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)		
7 演者と演出家の使い分け		

<目指す児童像> 低学年		評価
主体的	・粘り強く取り組み、問題解決に最後まで取り組むことができる。 ・自分の考えをノートに書くことができる。	
ふりかえり	・毎時間、振り返りを行うことができる。 ・振り返りの時間に、何を学習したか確かめることができる。	

校内授業規格 授業者の 振り返りシート

授業者:	教科「算数」	記入者
教科と単元名:	算数「新しい計算の仕方(加減)」	
授業日:	2023. 2. 16 (木)	

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情	○	前回より…	
2 場に応じた声量の変化	△		
3 子どもに合わせたテンポ	○	落ち着いた時間はよかった	
4 間を使った言葉の強調	△		
5 子ども全員への振舞	△		
6 子どもの行動を受容	○		
7 想定できるだけの準備	○		
8 学習規律への指導	○		
9 同時行為の禁止	△		

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。	△		
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。	○		
3 反例での指さしぶりの意識化	△		
4 ノートの辞書化	○		
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)	△		
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)	△		
7 演者と演出家の使い分け	△		

<目標達成度像>		低学年	評価
主目的	・粘り強く取り組み、問題解決に最後まで取り組むことができる。 ・自分の考えをノートに書くことができる。		○
ふりかえり	・毎時間、振り返りを行うことができる。 ・振り返りの時間に、何を学習したか確かめることができる。		○

校内授業規格 授業者の 振り返りシート

授業者:	教諭	記入者
教科と単元名:	算数「新しい計算の仕方(加減)」	
授業日:	RJ. 2. 16 (木)	

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情	○	笑顔も自然でありました。	
2 場に応じた声量の変化	○	声量も適切でした。	
3 子どもに合わせたテンポ	○	おもしろい雰囲気整いました。	
4 間を使った言葉の強調	○		
5 子ども全員への振舞	?	兎歩で見てもまだ少なかった。	
6 子どもの行動を受容	○	よく聞いてもらっていました。	
7 想定できるだけの準備	○		
8 学習規律への指導	○	ペースが悪かったです。机上での操作、動作が速い。	
9 同時行為の禁止	○		

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。	△	複数で行った。	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。	○	子どもたちが自分で書いていました。	
3 反例での指さしぶりの意識化	△		
4 ノートの辞書化	○		
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)	△		
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)	△		
7 演者と演出家の使い分け	○		

◎ 4年生で立派体で立派なことを伝えてもらいました。

早朝の室温が低い状態で、とても暖かい日になりましたが、それでも

<目標達成度像>		低学年	評価
主目的	・粘り強く取り組み、問題解決に最後まで取り組むことができる。 ・自分の考えをノートに書くことができる。		○
ふりかえり	・毎時間、振り返りを行うことができる。 ・振り返りの時間に、何を学習したか確かめることができます。		○

午後も引き続き、セミナーで意見交換を行ってきました。名前で「全く同じ形」と「さうが形」とが並んでいました。その後、「やりやめ」という言葉が現れました。(△)

校内授業規格 授業者の 振り返りシート

授業者:	教諭	記入者
教科と単元名:	算数「新しい計算の仕方(加減)」	
授業日:	2023. 2. 16	

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情	○	少し弱めの笑顔が多かったです。	
2 場に応じた声量の変化	○	声量も適切でした。	
3 子どもに合わせたテンポ	○	子どもたちの動きに合わせていました。	
4 間を使った言葉の強調	○	少し多い「なぜなぜ」とは	
5 子ども全員への振舞	○	兎歩で見てもまだ少なかった。	
6 子どもの行動を受容	○	よく聞いてもらっていました。	
7 想定できるだけの準備	○	丁寧な準備でした。	
8 学習規律への指導	○	手帳で統一感がありました。	
9 同時行為の禁止	○	丁寧な指導でした。	

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。	○	少しある程度はありました。	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。	○	自分で手書きで書いていました。	
3 反例での指さしぶりの意識化	○	少しある程度はありました。	
4 ノートの辞書化	○	少しある程度はありました。	
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)	○	少しある程度はありました。	
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)	○	少しある程度はありました。	
7 演者と演出家の使い分け	○	少しある程度はありました。	

<目標達成度像>		低学年	評価
主目的	・粘り強く取り組み、問題解決に最後まで取り組むことができる。 ・自分の考えをノートに書くことができる。		○
ふりかえり	・毎時間、振り返りを行うことができる。 ・振り返りの時間に、何を学習したか確かめることができます。		○

校内授業規格 授業者の 振り返りシート

授業者:	教諭	記入者
教科と単元名:	算数 (1年目)	
授業日:	2/16	

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情	○	笑顔も自然でありました。	
2 場に応じた声量の変化	○	声量も適切でした。	
3 子どもに合わせたテンポ	○	おもしろい雰囲気整いました。	
4 間を使った言葉の強調	○	少しある程度はありました。	
5 子ども全員への振舞	○	兎歩で見てもまだ少なかった。	
6 子どもの行動を受容	○	よく聞いてもらっていました。	
7 想定できるだけの準備	○	丁寧な準備でした。	
8 学習規律への指導	○	手帳で統一感がありました。	
9 同時行為の禁止	○	少しある程度はありました。	

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。	○	少しある程度はありました。	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。	○	少しある程度はありました。	
3 反例での指さしぶりの意識化	○	少しある程度はありました。	
4 ノートの辞書化	○	少しある程度はありました。	
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)	○	少しある程度はありました。	
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)	○	少しある程度はありました。	
7 演者と演出家の使い分け	○	少しある程度はありました。	

<目標達成度像>		低学年	評価
主目的	・粘り強く取り組み、問題解決に最後まで取り組むことができる。 ・自分の考えをノートに書くことができる。		○
ふりかえり	・毎時間、振り返りを行うことができる。 ・振り返りの時間に、何を学習したか確かめることができます。		○

校内授業参観 授業者の 振り返りシート

授業者： 教科と単元名： 授業日：	記入者
-------------------------	-----

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情		○	
2 場に応じた声量の変化		○	
3 子どもに合わせたテンポ		△	
4 間を使った言葉の強調		○	
5 子ども全員への視線		○	
6 子どもの言動を受容		○	
7 想定できるだけの準備		△	
8 学習規律への指導		○	
9 同時行為の禁止		○	

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。		△	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。		○	
3 反射での書きぶりの意識化		○	
4 ノートの辞書化		△	
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)		△	
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)		△	
7 演者と演出家の使い分け		○	

<目指す児童像> 高学年		評価
主体的	・基礎的基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。 ・自分の考えをノートに書き、友達と共にし再思考することができる。	△
ふりかえり	・自分の言葉で、その時間に学習した内容を書くことができる。 ・自分で書いた振り返りを次につなげることができる。	○

校内授業参観 授業者の 振り返りシート

授業者： 教科と単元名： 授業日：	記入者
-------------------------	-----

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情		○	
2 場に応じた声量の変化		○	
3 子どもに合わせたテンポ		○	△よりはいい感じだった。
4 間を使った言葉の強調		○	
5 子ども全員への視線		○	△よりはいい感じだった。
6 子どもの言動を受容		○	
7 想定できるだけの準備		○	
8 学習規律への指導		△	△よりはいい感じだった。
9 同時行為の禁止		△	△よりはいい感じだった。

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。		○	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。		△	
3 反射での書きぶりの意識化		○	△よりはいい感じだった。
4 ノートの辞書化		○	△よりはいい感じだった。
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)		○	
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)		○	
7 演者と演出家の使い分け		○	

<目指す児童像> 高学年		評価
主体的	・基礎的基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。 ・自分の考えをノートに書き、友達と共にし再思考することができる。	○
ふりかえり	・自分の言葉で、その時間に学習した内容を書くことができる。 ・自分で書いた振り返りを次につなげることができる。	○

校内授業参観 授業者の 振り返りシート

授業者： 教科と単元名： 授業日：	記入者
-------------------------	-----

<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情		△	
2 場に応じた声量の変化		△	
3 子どもに合わせたテンポ		△	
4 間を使った言葉の強調		△	
5 子ども全員への視線		△	
6 子どもの言動を受容		△	
7 想定できるだけの準備		△	
8 学習規律への指導		△	
9 同時行為の禁止		△	

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。		○	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。		○	
3 反射での書きぶりの意識化		△	△よりはいい感じだった。
4 ノートの辞書化		○	
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)		△	△よりはいい感じだった。
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)		△	
7 演者と演出家の使い分け		△	

<目指す児童像> 高学年		評価
主体的	・基礎的基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。 ・自分の考えをノートに書き、友達と共にし再思考することができる。	△
ふりかえり	・自分の言葉で、その時間に学習した内容を書くことができる。 ・自分で書いた振り返りを次につなげることができる。	○

校内授業参観 授業者の 振り返りシート

授業者： 教科と単元名： 授業日：	記入者
-------------------------	-----

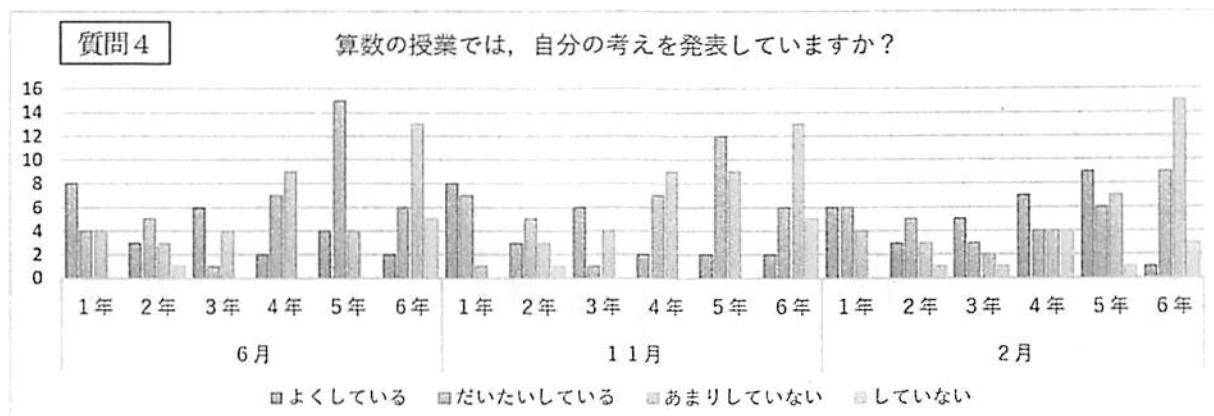
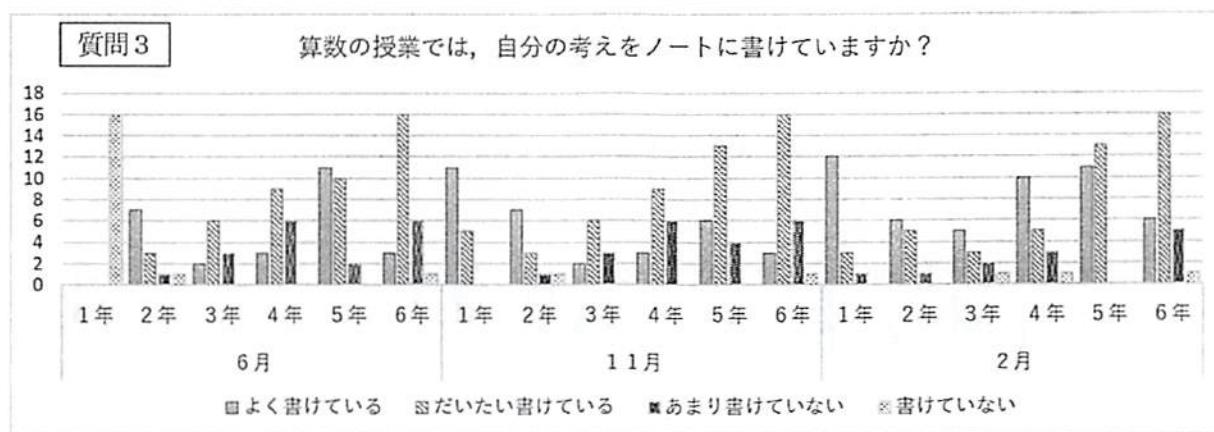
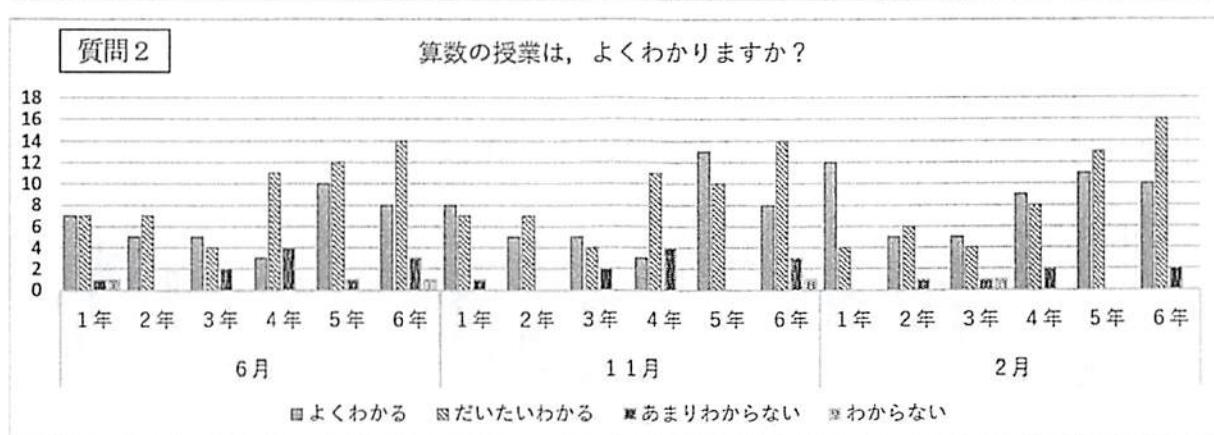
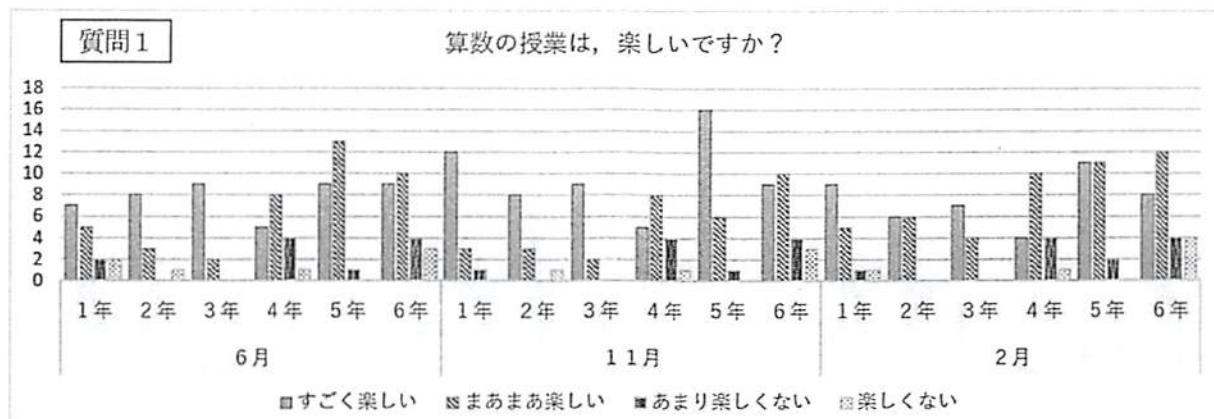
<9つの基本>		評価	コメント
1 笑顔を基本とした表情		○	△よりはいい感じだった。
2 場に応じた声量の変化		○	
3 子どもに合わせたテンポ		○	
4 間を使った言葉の強調		○	
5 子ども全員への視線		○	△よりはいい感じだった。
6 子どもの言動を受容		○	△よりはいい感じだった。
7 想定できるだけの準備		○	△よりはいい感じだった。
8 学習規律への指導		○	
9 同時行為の禁止		○	

<7つの実践>		評価	コメント
1 一人発言での授業構成はしていない。		○	
2 まとめを自分で書くのであれば学習問題も自分で書く。		○	△よりはいい感じだった。
3 反射での書きぶりの意識化		○	
4 ノートの辞書化		○	
5 見通しの2つの視点 (プロセスとゴール)		○	
6 振り返りの2つの視点 (まとめは全体、自己評価は自己ベスト)		○	
7 演者と演出家の使い分け		○	

<目指す児童像> 高学年		評価
主体的	・基礎的基本的な知識及び技能を確実に身に付ける。 ・自分の考えをノートに書き、友達と共にし再思考することができる。	○
ふりかえり	・自分の言葉で、その時間に学習した内容を書くことができる。 ・自分で書いた振り返りを次につなげることができる。	○

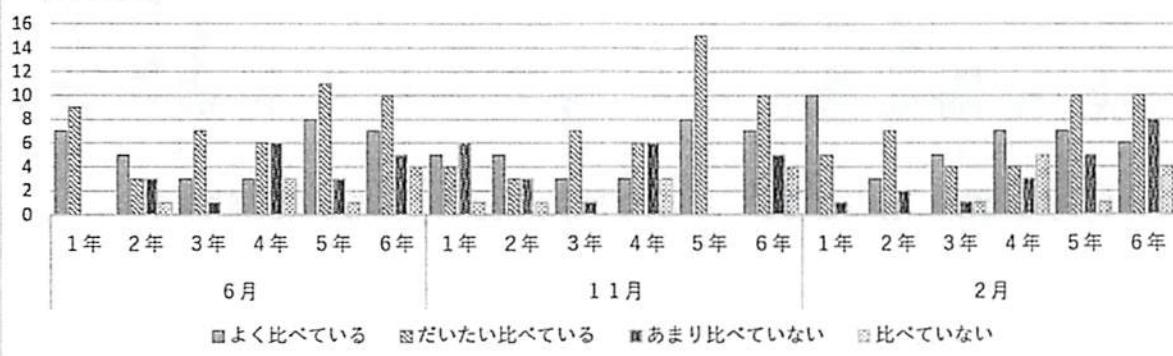
<児童の変容>

質問・学年ごとに集計した結果

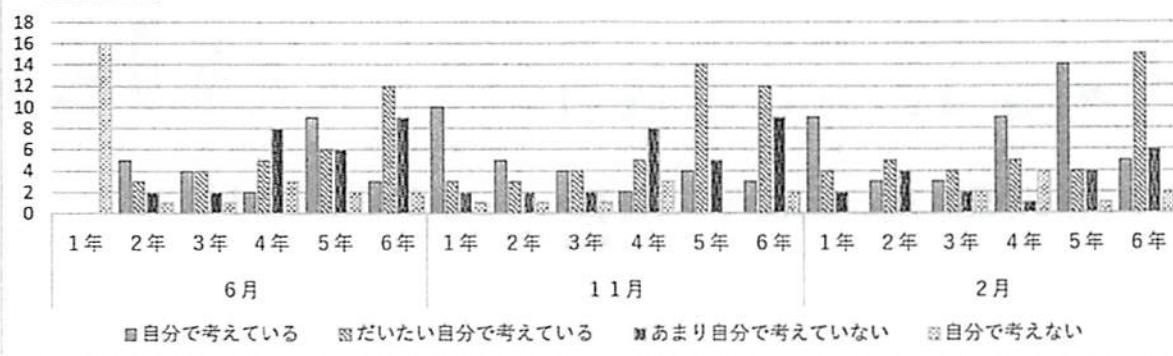


質問5

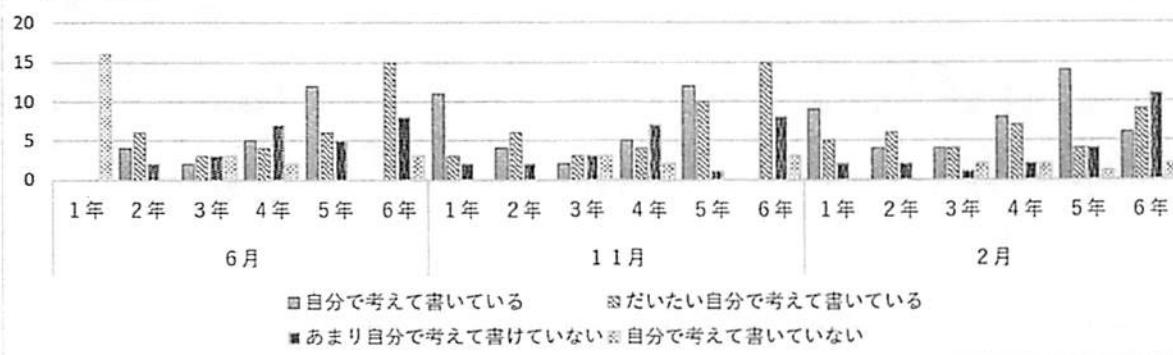
算数の授業では、自分の考えと友だちの考えを比べていますか？

**質問6**

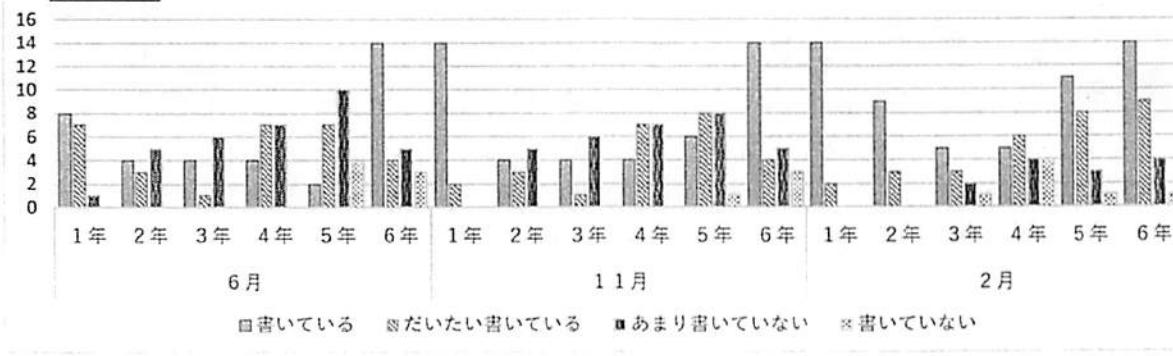
算数の授業では、自分で学習問題を考えて書いていますか？

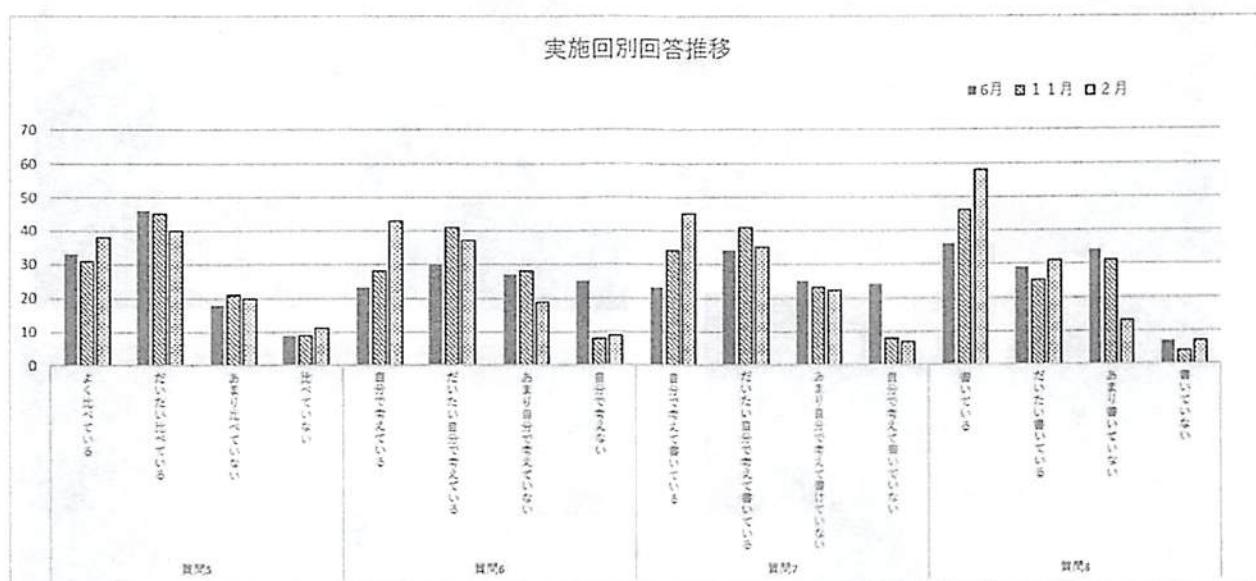
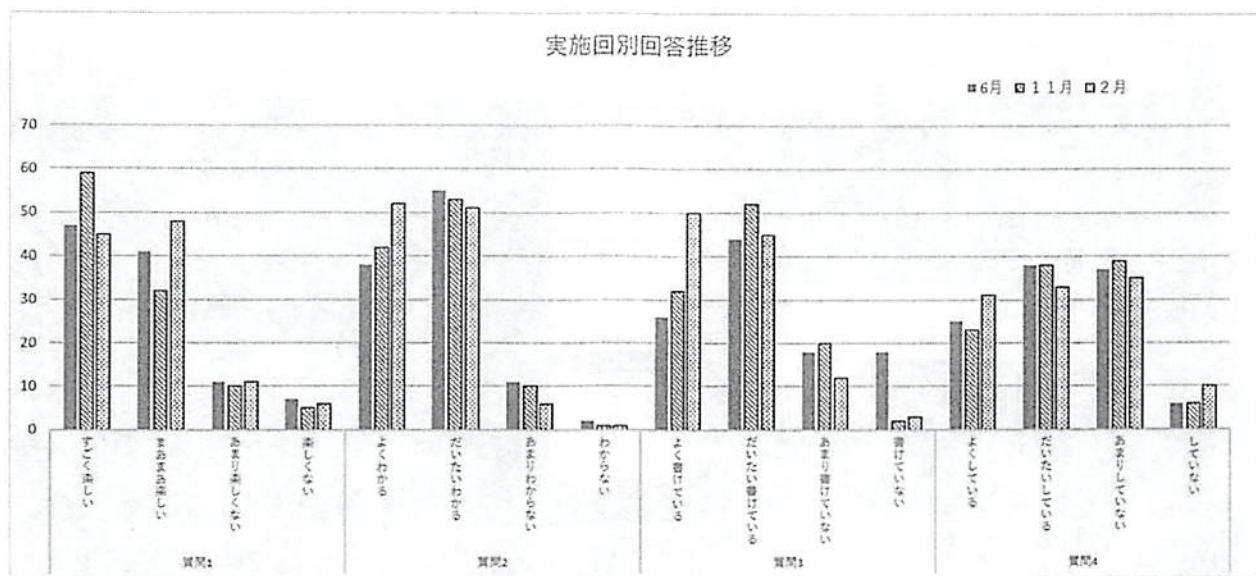
**質問7**

算数の授業では、まとめを自分で考えて書いていますか？

**質問8**

算数の授業では、振り返りに学んだことを書けていますか？





< 職員対象の研修アンケート結果より >

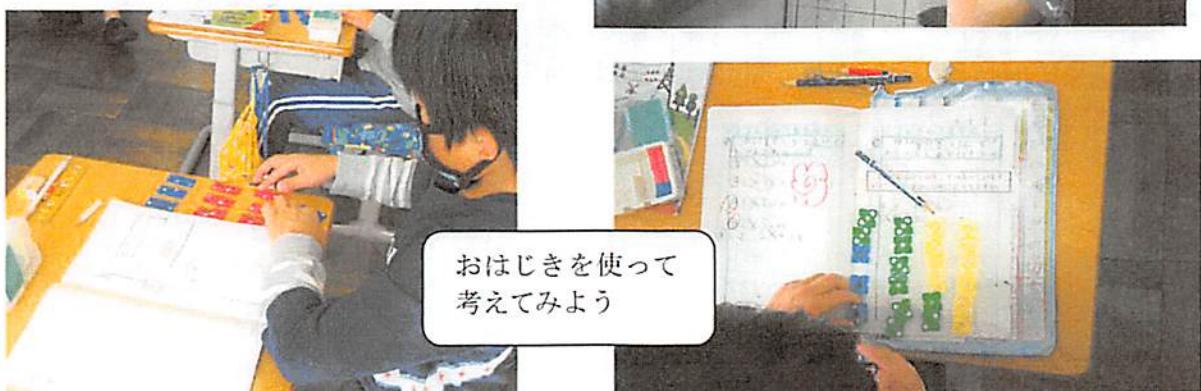
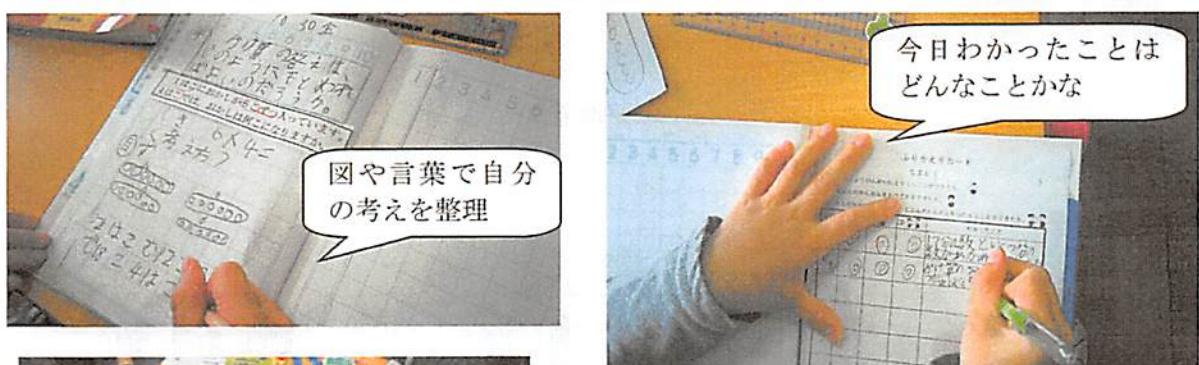
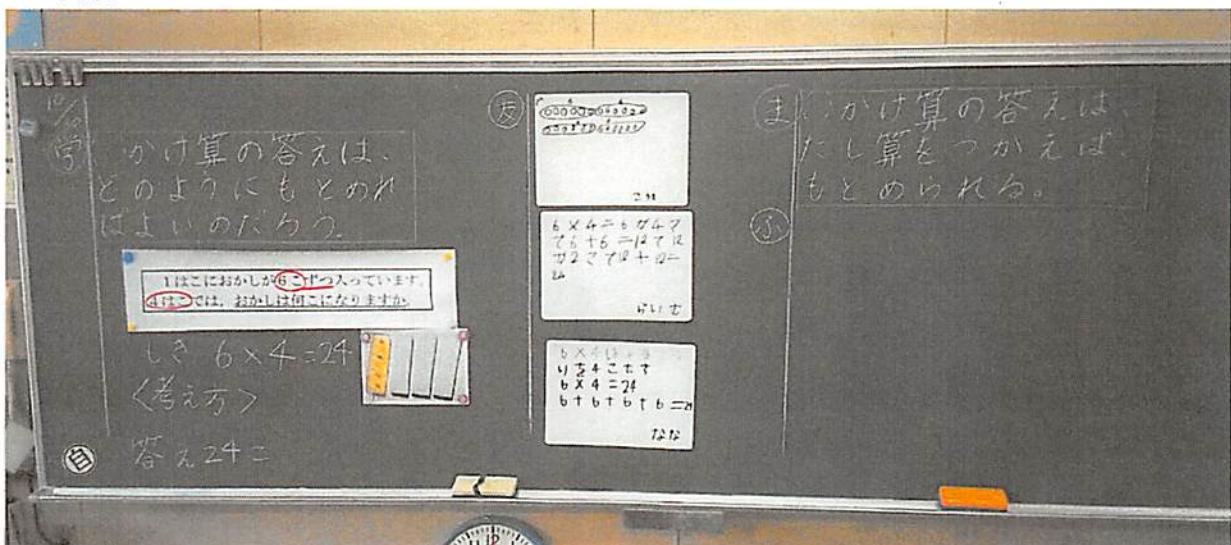
「ご自身の実践」と「学級の児童の実態」について

(1 : とても当てはまる。2 : 当てはまる。3 : あまり当てはまらない。4 : 当てはまらない。)

質問	1	2	3	4
① 児童は自分の考えをもつことができる。	2	7	2	0
② 児童は、主体的（見通し・粘り強く・振り返り・新たな問い合わせ）に学習している。	0	9	2	0
③ 学習過程（みなみの学びモデル）を統一した。	4	5	2	0
④ 児童は終末の「ふりかえり」が定着した。	5	3	3	0
⑤ 教師自身の振り返りを意識した。	4	6	1	0
⑥ ICT 機器を積極的に活用した。	5	5	1	0

<第2学年>

- 1 単元名 「新しい計算を考えよう」(かけ算)
- 2 実践

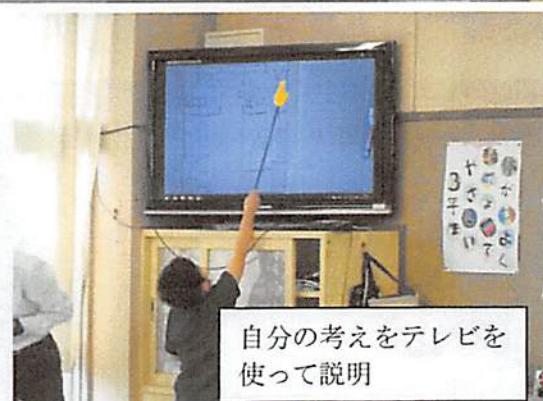
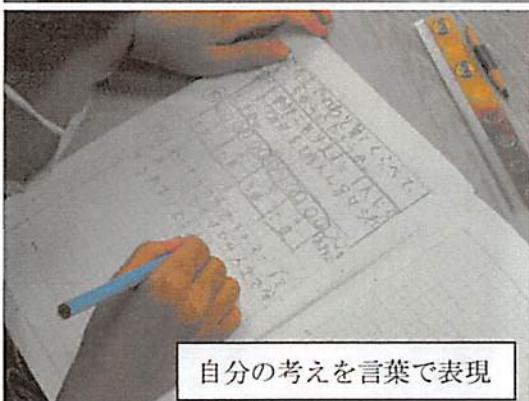
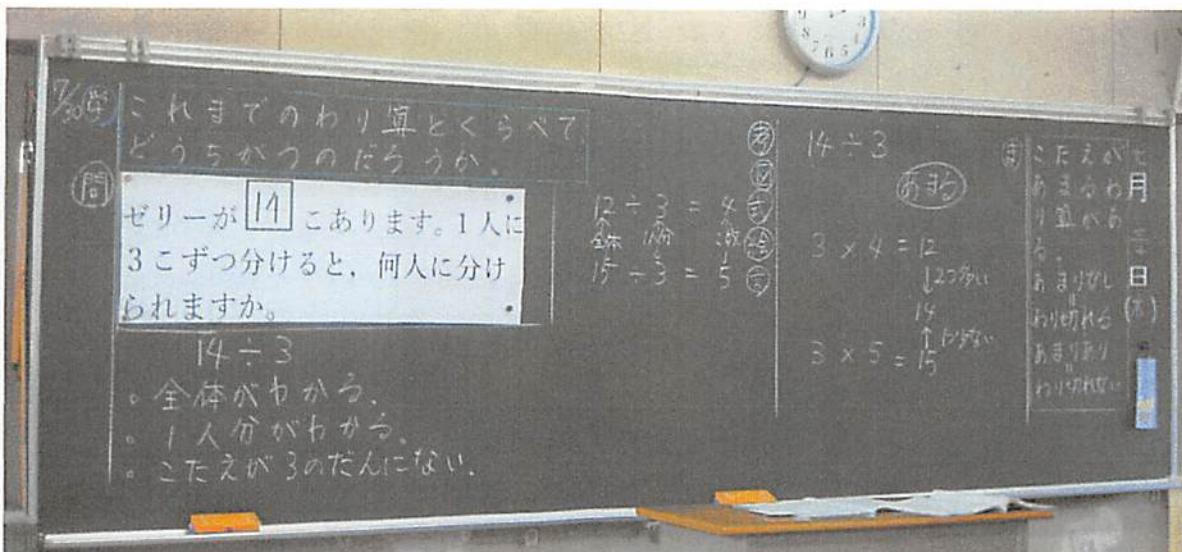


3 成果と課題

- ◎前時までの内容を理解できていたので、「一つ分の数」と「いくつ分」に注目して式を立てることができていた。
- ◎ホワイトボードで発表することで、友達の意見と自分の意見を黒板を見ながら比べることができた。
- ◎ふりかえりカードを使った振り返りが身につき、本時の学習を文字で振り返ることができた。
△ICTの活用ができなかった。
- △自力解決で半具体物の操作をしたので、全体の場でも図に表すなどでそれを取り上げられれば良かった。
- △振り返りが振り返りだけで止まってしまっている。本時を振り返って次時の活動の意欲へつなげたい。

<第3学年>

- 1 単元名 「わり算を考えよう」
- 2 実践

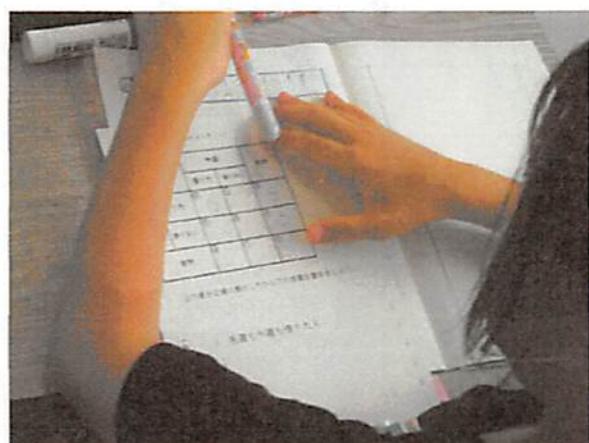
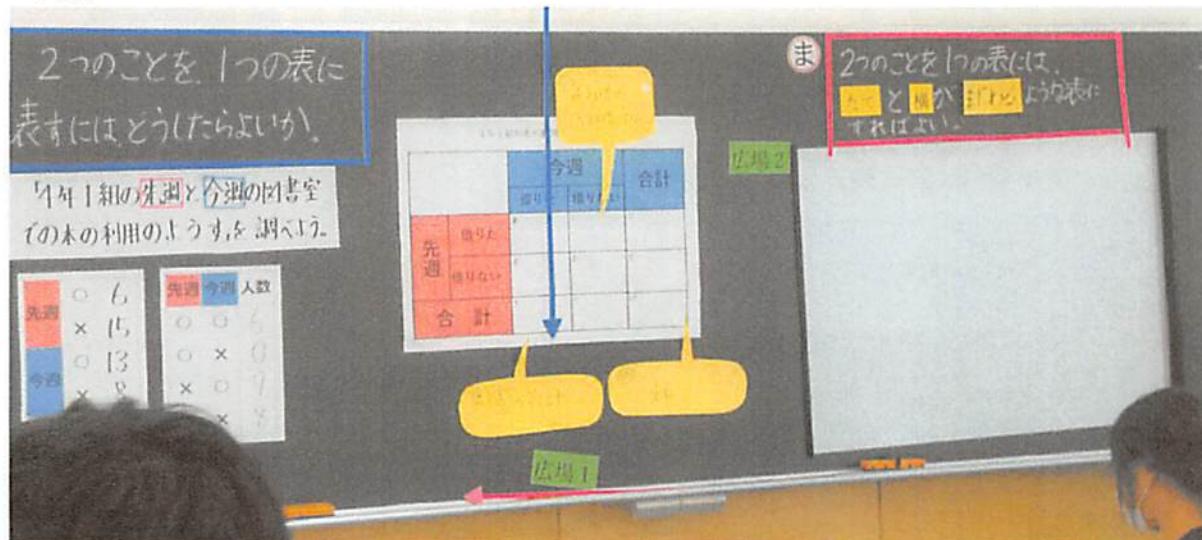


3 成果と課題

- ◎自力解決を、文字や図、式などを使い、問題を解決しようとする意欲が高かった。
- ◎全体で自分の考えを伝える場面では、積極的に発表することができ、友達の発表を付け足してさらに自分の考えを発表することができた。
- ◎ふりかえりは、タブレットを活用して行った。使い始めだが、自分の考えを積極的に書きこむことができ、ふりかえりが主体的になった。
- △わり算の概念が正しく理解されていなかった。「わり算は同じ数ずつ分けること」を理解させておくことが必要であった。
- △学習問題が児童の欲求とずれていた。さらなる教材研究が必要だった。
- △ちよいたしタイムまで時間が取れなかった。導入をスムーズにするために、既習内容を掲示して、振り返りやすくしておくことが必要だった。

<第4学年>

- 1 単元名 「グラフや表を使って調べよう」
- 2 実践



ワークシートを活用して



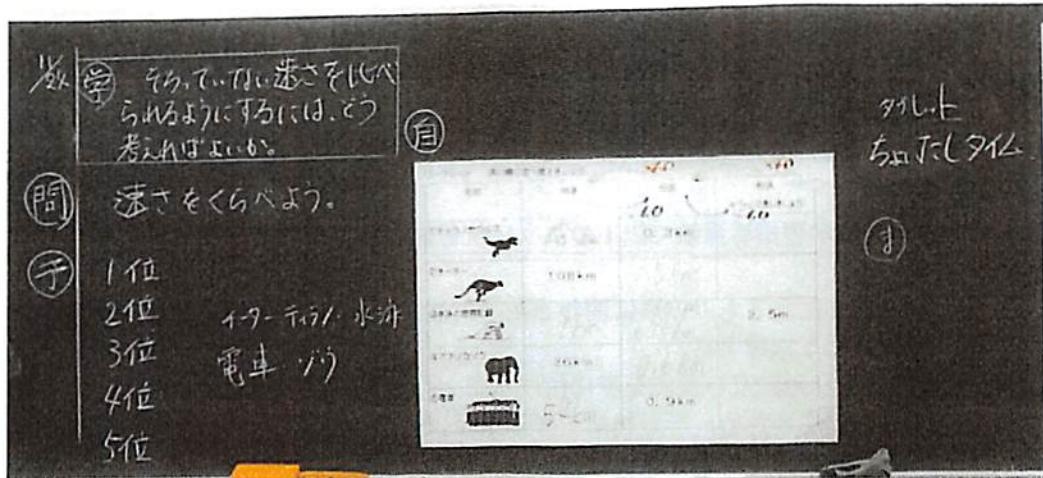
タブレットを活用して

3 成果と課題

- ◎ 「みなみの学びモデル」に沿った学習計画を行った。毎時間の学習後に、ノートに貼った、振り返りカードに書くことで、次時の学習につなげることができた。
- ◎ 「見いだす」「調べる」「深める」「まとめあげる」の4つの学習プロセスに沿って学習を展開し、終末には、キーワードを手掛かりに、学習のまとめを書くことができた。
- ◎ 学習意欲を高めるための振り返りを行った。導入時に、掲示物に書かれた前時までの学習を短時間で振り返り、学習意欲を高めることができた。表を色分け（折れ線グラフのメモリや二次元表の縦と横）して、振り返りしやすいようにした。
- △ ICTとアナログをバランスよく活用するとよい。
- △ タブレットとノートを使い分けると良い。
- △ 二次元表の良さが子供たちの中に入っていくように広げ深めていきたい。

<第5学年>

- 1 単元名 比べ方を考えよう（1）「単位量あたりの大きさ」
- 2 実践



タブレットによる問題解決



ちよいたしタイムをタブレット上で行う

3 成果と課題

- ◎児童にとって身近な具体物を例に挙げることで、学習に必要感が生まれ、主体的に学習に臨む姿が多く見られた。
- ◎見通しをもつ際に図や数直線などを用いて学習を行ってきたので、自力解決ができる児童が増えた。
- ◎毎時間ちよいたしタイムを行ったので、自分の考えを深めることができた。
- ◎振り返りカードをノートの最後のページに貼って活用し、毎時間の学習の振り返りをさせたので、次時への意欲につなげることができた。

△教師主体になる場面が多いように思われた。児童同士が日常生活などから必要感を見出し、より主体的に取り組めるよう支援する必要がある。

△児童によって書き方にばらつきがあるため、振り返りカードの書き方をより指導すべきであった。

△ノートとの併用が難しい。どのように活用すれば効率がいいか模索していきたい。